

## サンプル問題

### I 小論文試験（長文読解）

（配点 70 点）

次の文章は、後藤正治「五輪は永続しうるか」から一部省略した上で抜粋したものである。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

私の五輪の記憶はローマ大会（1960年）からだだが、エチオピアのアベベ・ビキラという名を耳にし、苗字と名前はどちらなのか、と思ったことを記憶する。『アベベ・ビキラ』（草思社文庫）は、イギリス人ジャーナリストによる評伝。

マラソン史上、もっとも劇的な終盤だった。先頭を走る走者がだれなのか、だれも知らなかったからだ。

「夜の闇に包まれ、古代ローマの荘厳を帯び、無名の黒人選手が裸足で疾走する姿はまさに“神秘”としか言葉にしようがなかった」

4年後の東京大会、アベベは白いシューズを履いて連覇を果たす。

『東京五輪 1964』（文春新書）は、大会から半世紀後、さまざまな関係者の追想をまとめたもので、著者は新聞社の元運動部長。ラスト、人々の声を集約するものとして、「あれはほんとにオリンピックらしいオリンピックだった」と締め括っている。

近代の五輪との相違は、アマチュアリズムが貫かれていたことだろう。万事、素朴で質素だった。やがて五輪の肥大化、商業化、華美化が進行していくが、その過程で私たちは何かを失っていったのだろう。

小川勝の『オリンピックと商業主義』（集英社新書）は、歴史をさかのぼりつつ、オリンピックとカネの関係を解きほぐしている。

商業化路線にカーブが切られたのは「大会エンブレム」を商標化したミュンヘン大会（72年）あたりからという。よく、ロサンゼルス大会（84年）が商業化への分岐点とされるが、この大会は市税投入が閉ざされた中での「完全民営化」だった。選手が広告塔になることも許容され、事実上、アマチュアリズムは放棄される。

やがてテレビマネーが巨額化し、ソウル大会（88年）では陸上が、北京大会（2008年）では水泳・体操の決勝がアメリカ時間の夜に合わされる。2度目の東京大会もこの流れの中で迎えようとしている。

沢木耕太郎の『冠（コロナ）』（朝日新聞社）は、アトランタ五輪（96年）を現地観戦した日記風ノンフィクション。冒頭少し後、オリンピアを訪ねた著者は、「近代オリンピックは、いま、ゆっくりと滅びの道を歩みはじめたのではあるまいか」と記す。

古代オリンピックは、ローマ帝国の支配下の中で衰退していくが、過剰な報奨金や不正行為という内部要因もあった。近代オリンピックは高々一世紀余であるが、なにやら符号するものもなしとしない。

五輪は元来、高邁な理念と現実の乖離という偽善を併せもつが、それなりに人類の共通遺産となってきた。永続的な存続を願うなら、規模、施設、運営、演出のすべてにわたって“地味五輪”への逆カーブを切らねばなるまい。

1. 文章の下線部（その過程で私たちは何かを失っていったのだろう）について、私たちが失った内容について具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅠ）に行うこと。
2. 文章後半の二重下線部に、「五輪は元来、高邁な理念と現実の乖離という偽善を併せもつが、それなりに人類の共通遺産となってきた」とある。筆者がそのように考える内容を具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅡ）に行うこと。

## II 小論文試験 2（論理力を試す記述問題）

（配点 30 点）

以下の文章は、採血後の対応を記したある病院の注意書きである。これを読んで、下記の設問に答えよ。

採血をした後で青あざが出たり腫れたりすることがあります。この症状は採取の直後に出ることもあります、数日後に出ることもあります。採血が上手な看護師が採血しても出る場合があります。

青あざや腫れが出る主な原因は、止血時間を 10 分以上取らなかった場合です。皮膚の表面から見て血が止まったように見えても、血管の周辺が止血できているとは限らず、重いものを持ったりすると、内出血したりします。

その他の原因として、血液自体の出血傾向、服用している薬の影響もあります。

青あざと腫れは、通常は数週間で黄色く変色し、消えていきます。内出血は、運動によって移動したりしますが、徐々に吸収されますからそのまま経過を観察してください。

腫れによって痛みが生じる場合もありますか、腫れが治まるに従って、徐々になくなります。もしも、しびれが続く場合は当院にご相談ください。

1.
  - (1) この文章から「採血後に止血を 10 分以上したのに青あざや腫れがでた場合は、服用した薬が原因である」という主張は導かれるか。
  - (2) その理由を説明しなさい。
2.
  - (1) この文章から「青あざと腫れが数ヶ月消えない場合は病院に行かないといけない」という主張は導かれるか。
  - (2) その理由を説明しなさい。